

期間限定「ギンカクラゲ」の展示を開始しました。

海遊館(大阪市港区)では、2022年9月15日(木)より特別展「視点転展」にて、「ギンカクラゲ」を期間限定で展示しています。本種の展示は海遊館では初となります。

ギンカクラゲは直径4cm程度の小型のクラゲです。1個体のように見える姿は、実は複数の小さなクラゲが集まった「群体」という、クラゲの中でも珍しい生態を持っています。中央にある盤状の浮きを使って外洋の海面を漂いながら生活していますが、時折潮の流れに乗って沿岸部までやってきます。

今回の展示個体は、高知県土佐清水市にある海遊館の研究施設「大阪海遊館 海洋生物研究所 以布利センター」近くの港内で採集しました。



飼育がとて難しい種類のため短期間の展示となる可能性が高いですが、海遊館は本種の展示を通し、生き物や自然環境に興味を持っていただく機会を提供したいと考えています。

【 ギンカクラゲについて 】 学名：*Porpita porpita*

盤状の浮きが銀貨に似ることが名前の由来。触手のように見える部分はそれぞれが「個虫」と呼ばれる個の生命であり、個虫が複数集まって1つのギンカクラゲを形成する。また、この姿はクラゲの生涯中の一形態である「ポリプ期」の姿で、一般的にクラゲと聞いて思い浮かぶ「クラゲ期」の姿は傘の直径が数mm程度ととても小さい。

【 展示概要 】

■展示場所：エントランスビル4F 特別展「視点転展」

■展示期間：2022年9月15日～

■展示数：12(直径約4cm)

※メインビル3F「海月銀河」でも、9月16日から展示予定です。

※生物の状況により、予告なく展示期間や展示数を変更する場合があります。

本件に関する広報連絡先

取材や素材提供をご希望の場合は下記までご連絡ください。

海遊館広報チーム 06-6576-5529